

専修大学文学部社会文化コース 1988 年度卒業論文（1989 年 3 月卒業）

混住社会における地域活性化の展望

1988 年の余暇

—21 世紀へ向けての日本人の余暇意識—

高齢化社会におけるシルバー産業の展開

長寿王国日本にみる高齢化と労働

労働時間短縮について

チェーンストアの限定勤務地制度

中流意識について

パートタイマーのゆくえ

家族と女性

都市環境を考える

現代の若者男性は、何故オシャレになったのか

現代消費社会におけるコードの転換

「日本らしさ」再考

—個の主体性を求めて—

若者文化の出現とその変容 橘 拓

新人類のオトナ化

—現代日本社会における青少年の社会化—

現代食生活文化考

情報化社会にみるくちのコミュニケーション

快樂の彼岸

教育を通して見た日本人の国民性

—戦前から戦後への変化を考える—

大衆社会論の系譜としての現代社会論

老年期における痴呆について

単身家族の抱える問題

老人福祉施設体系の現状と課題についての考察

—中間施設の考え方を中心として—

国際化教育をめぐる問題とその考察

在宅福祉サービスを考える

—埼玉県を例にとって：その提供側からのアプローチ—

混乱期はカリスマを必要とする
東京一極集中における中央と地方
読書体験のなかのパリ
ーその都市空間ー
生活空間としての街づくり

<各ゼミナール代表論文>

【芥川集一ゼミナール】

初期マルクスにおける史的唯物論の形成

【柴田弘捷ゼミナール】

日本人の余暇観

外国人出稼ぎ労働者問題をどう考えるか

【川本勝ゼミナール】

社会における秩序と個人の関係

【宇都榮子ゼミナール】

家族機能回復のための福祉サービスの追求

【広田康生ゼミナール】

都市空間の舞台である広場について